

西日本新聞

ベコロこと岡野雄一最新作
**みつえばおちゃん
とボク**
古い記憶と
家族の物語
●出版社 書店で好評発売中

2016年

5月15日
(日曜日)

ラストレス

うつつの相談
リワーク(復職支援)

精神科・内科
医療法人 浪江堂
油山病院
院長 三野原 義光
福岡市早良区野芥5丁目6番37号
油山病院 (福岡)
☎092-871-2261

きょう	あす
福岡	22 15
北九州	23 14
筑豊	23 10
明	8時~12時(1階)~
昼	降水確率
夜	最高/最低気温/風向
27	18
27	17
0	10
27	17
0	10
27	17

七福神 近頃いよいよ...へりとした時間を過ごし「謝したい」と話していた。

TAO × 竹田

文化芸術は街を元気にする

竹田市久住町の久住高原の真ん中に位置するTAOの本拠地「TAOの里」。アーティストたちは、この場所で自分自身とまたら600度に広がる自然と対峙しながら、舞台制作や稽古に集中。そして、アーティストとしての表現力を養っていく。

TAOが久住を選んだ理由。それは、舞台制作や舞台人育成のために、24時間太鼓がたたく豊富な環境が必要だったからだ。阿蘇くじゅう国立公園の中心というべき素晴らしい立地、九州と思えないほど厳しい冬に鍛えられる一方で、春や夏の雄大な景

観には、稽古や制作にいきなりアーティストを包み込むような優しさがあがり、また日々の厳しい生活や稽古に耐え抜く研修生を「頑張れ！」と鼓舞してくれるような強さがある。

TAOの門をたたいた人間はさまざま。太鼓をたたけるというところは必須条件としていない。世界、全国各地で公演を見学してこる若者も、年間100人を数える。この数年はオーディション形式にており、履歴書審査の後、実際にTAOの里に来てもらい、演出を務める機会。主力のメンバーによって試験

「芸術村」の夢を実現へ



TAOの里がある久住高原。雄大な自然の下で若者たちは日々鍛錬する。

を行う。体力や技能を見るほか、アーティストの卵としての表現力そして熱い思い。そういう部分を総合してみると、気付けば残るのは10人に満たない。また、研修生と

久住発 サンデーコラム

「阻塞気球のレプリカ

一年もいいイワシが捕れたい

して入団してからは厳しい生活が始まる。成長スピードが格段に速い一方で、耐え切れず去っていく人間も多い。年々、希望者が増える一方、オーディションに合格して現るのは全体の1割以下という現実。それを見たときにひらめいたのが、「学院構想」だった。試験に落ちても夢を捨て切れずに、1年間また自主トレーニングを積んで戻ってくる多くの若者たち。しかし、普通の「和太鼓奏者」では太鼓打ちできない技術が必要なTAOの表現方法を誰に教わるでもなく、体力も未熟なまま報われることがない。それならば、TAO自身が太鼓を教える日本初の和太鼓専門学校を設け、TAOの太鼓を学べる環境ができればいいと思った。また、併設する「芸術村」で1日の一定時間

働いて、学費や生活費を自力で賄う術も用意して迎えられる。生徒は必ずしもTAOに入団する必要はない。地元に戻って、TAO流の和太鼓を教えられる指導者になりたいという者も、もちろん受けられる。雄大な大自然の中で若者たちが育み、また大自然を存分に楽しめる芸術村。くじゅう高原を背景に世界に類のない「天窓の舞台」を建設する。2020年の東京五輪を見据えて計画を進めている。いずれ、訪日外国人が話題にしてくれるような、文化的な魅力ある新しい施設を地域に根差しながら、創っていくたい。TAO創設以来の、また一つ大きな夢、新たな試みが始まった。(タオ・エンターテインメント社長、藤高郁夫)

あすのごよみ

旧暦 4月10日 月齢 9.3
日 出 5.13 日 入 19.07

再少年電再
少少年電再
再少年電再
少年電再
少年電再

朝日新聞